

平成30年9月28日

株式会社シーエス・ワンテン

バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社

番組審議会議事録

- ・日時 平成30年9月28日（金） 11時00分～
- ・場所 東京都港区区虎ノ門 4丁目
バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社 A会議室
- ・出席者 審議委員総数 7名
(出席委員)
 - 委員長 片岡 朋行（ヴァスコ・ダ・ガマ法律会計事務所 弁護士）
 - 委員
 - 議長 松居 秀之（株式会社ピクス 常務取締役）
関谷 信浩（東放学園専門学校・東放学園映画専門学校 学校長）
竹村 謙二郎（株式会社oricon ME 雑誌事業本部 コンフィデンス編集部 編集）
野村 達矢（一般社団法人日本音楽制作者連盟 理事）
芳賀 康浩（青山学院大学 経営学部 マーケティング科 教授）
松尾 健司（株式会社J-WAVE 編成局 エグゼクティブプロデューサー）
- (衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン)
 - 福田 泉（代表取締役社長）
 - 谷 俊之（編成局長）
- (番組供給事業者：バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社)
 - 井股 進（代表取締役社長）
 - 本間 雅彦（クリエイティブ&コンテンツ部 部長）
 - 岡田 純明（クリエイティブ&コンテンツ部 編成 シニアマネージャー）
 - 萬 隆紀（コンテンツ・ディストリビューション・マネジメント部 シニアマネージャー）
- ・審議番組 「三浦大知“BEST” Special」
- ・放送概要 2018年3月30日（金） 22時～23時
- ・番組内容

番組は同年3月7日にベストアルバム『BEST』のリリースを記念し制作された。撮影は都内の飲食店を貸し切って行われ、前年9月よりスタートし、2月の日本武道館での最終公演まで、三浦大知史上最大最長となった「BEST HIT TOUR」の”打ち上げパーティー”にカメラが潜入という演出で、共にツアーを回ったダンサー7人を交えてMC・鮎貝健の進行のもと、これまでの活動を振り返るトーク番組。この番組は三浦大知のソロデビュー記念日である3月30日に、過去にMTVで制作した特別番組や、ミュージックビデオの特集番組と合わせて一挙放送された。

・委員からの意見・質問とMTVの回答

○編集基準については問題無い。

○パーソナルな面にフォーカスする番組構成は、CSならではの企画で、アーティストのファンに訴求する番組だった。

○終始トークシーンで展開されたため、あまりメリハリがないように感じた。

○トークの中で出てきた過去のライブや無音ダンスの話、アルバムジャケットの話など、ファンであれば内容を思い浮かべることができるが、アーティストの事をあまり知らない人に向けて、映像での紹介やテロップ等のインサートがあると良いと思った。

○関連番組を一挙放送したということで、この番組だけでなく他の番組を見ることで、この番組で触れた要素を補完できるような編成であったと考えられるが、この番組内で関連番組への誘導があった方が親切だと思った。

○MCの方の話の聞き出し方や話題の振りが上手かった。

○司会だけでなく三浦大知さんも、トークを振られたダンサー達へのフォローなどが巧く、進行がスムーズであった。

○「三浦大知“BEST”Special」という番組タイトルから、今回のような番組内容を予測することが難しかったため、冒頭はどのような番組展開になるのかわからず多少不安になった。

○飽きずに全編を視聴することができた。あつという間に感じた。

○バックダンサーにフォーカスするのは珍しく、MTVならではの尖った企画だったと思った。

○バックダンサー達が実際にパフォーマンスをしている映像のインサートがあると良かった。オンステージの映像があつてこそ、対比としてバックステージをみせることの面白さが際立ち、よりリアリティが出るのではないかな。

○ダンサーの方々が最初はぎこちなかったが、次第に慣れてきて、出演者の本音が聞けるトークバラエティという趣になった。

○三浦大知さんをはじめ、ダンサーの方の人柄の良さも出ており、見ていて気持ちが良かった。

○飲食しながらのざっくばらんな会話であったが、不快に思うところは特になかった。

・MTVの回答

○ファン向けの内容としてトークを中心に構成したが、インサート等の意見はもっともなので今後活かしていきたい。

○MTVで長年V Jを務めている鮎貝健さんは三浦大知さんとも親交があったため、この企画に適任だったと思う。



・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成30年9月28日以降、編成担当及び番組製作者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

・審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

平成30年11月以降に、シーエス・ワンテンのホームページに審議会概要を掲載、また、MTVの放送内でも公表する予定。

以上